

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年4月26日(2023.4.26)

【公開番号】特開2021-142064(P2021-142064A)

【公開日】令和3年9月24日(2021.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2021-045

【出願番号】特願2020-42189(P2020-42189)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和5年4月18日(2023.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者に有利な特別遊技を実行するか否かの判定を行う判定手段と、

前記判定が行われると、所定の図柄表示手段に図柄を変動表示させてから前記判定の結果を示す図柄を停止表示させる図柄表示制御手段と、

前記判定の権利を所定数まで保留可能な保留手段と、

前記保留手段が保留した前記権利に対して前記判定が行われる前に、前記特別遊技を実行するか否かの事前判定を行う事前判定手段と、

演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記判定の結果に基づいて、当該判定に応じて行われる前記図柄の変動表示である特定変動の実行中に、前記特別遊技が実行されることを報知する当たり報知演出、又は、前記特別遊技が実行されないことを報知するハズレ報知演出を実行し、

前記特定変動が開始される前に、当該特定変動に対応する前記判定の権利に係る前記事前判定の結果に基づいて、前記当たり報知演出が前記特定変動において実行されることを期待させる期待演出として、第1期待演出または第2期待演出を実行可能であり、

前記第1期待演出を実行した場合は、前記当たり報知演出が実行される可能性が第1の程度であることを示唆する第1示唆演出と、前記可能性が前記第1の程度よりも高い第2の程度であることを示唆する第2示唆演出と、の少なくともいずれか一方を前記特定変動において実行し、

前記第2期待演出を実行した場合は、前記可能性が前記第2の程度よりも高い第3の程度であることを示唆する第3示唆演出と、前記可能性が前記第2の程度よりも低い第4の程度であることを示唆する第4示唆演出と、のいずれか一方を前記特定変動において実行することを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

50

前述の課題を解決するための第1発明の遊技機は、
遊技者に有利な特別遊技を実行するか否かの判定を行う判定手段と、
前記判定が行われると、所定の図柄表示手段に図柄を変動表示させてから前記判定の結果を示す図柄を停止表示させる図柄表示制御手段と、
前記判定の権利を所定数まで保留可能な保留手段と、
前記保留手段が保留した前記権利に対して前記判定が行われる前に、前記特別遊技を実行するか否かの事前判定を行う事前判定手段と、
演出を制御する演出制御手段と、を備え、
前記演出制御手段は、
前記判定の結果に基づいて、当該判定に応じて行われる前記図柄の変動表示である特定変動の実行中に、前記特別遊技が実行されることを報知する当たり報知演出、又は、前記特別遊技が実行されないことを報知するハズレ報知演出を実行し、
前記特定変動が開始される前に、当該特定変動に対応する前記判定の権利に係る前記事前判定の結果に基づいて、前記当たり報知演出が前記特定変動において実行されることを期待させる期待演出として、第1期待演出または第2期待演出を実行可能であり、
前記第1期待演出を実行した場合は、前記当たり報知演出が実行される可能性が第1の程度であることを示唆する第1示唆演出と、前記可能性が前記第1の程度よりも高い第2の程度であることを示唆する第2示唆演出と、の少なくともいずれか一方を前記特定変動において実行し、
前記第2期待演出を実行した場合は、前記可能性が前記第2の程度よりも高い第3の程度であることを示唆する第3示唆演出と、前記可能性が前記第2の程度よりも低い第4の程度であることを示唆する第4示唆演出と、のいずれか一方を前記特定変動において実行することを特徴とするものである。

10

20

30

40

50